



でしょうか。顔立ちがそれほど目立つことはないけれど、気安く話ができて、時間がたつうちに人気を獲得していく人物もいるでしょう。

では⑦それはいったい、何によって決まるのでしょうか。

そこには、⑧表情というマジックが関係しているのです。つまり顔は、土台プラス表情の変化なのです。ふだん華やかに見える女性が、たまたま無表情でいるときに、意外に※無骨な顔をしているように見えたり、全く違う印象に見えたりしたことはないでしょうか。あるいは、写真に写った自分の姿が、同じ自分の顔なのに、時には気に入ったり、時には気に入らない顔だったりするのはなぜでしょう。緊張したり油断したりして、「変顔」に写っていることもあるでしょう。自分らしくない表情の時も、あるでしょう。

そこにいくとプロのカメラマンは、モデルをリラックスさせて、「その人らしさ」を引き出すことに※長けています。その人らしさとは、その人の持つ独特の表情が※伴った顔をさします。表情は、大切です。こうした表情をうまく使いこなす人こそが、好まれる顔を演出しているともいえるのです。

（山口真美『自分の顔が好きですか？——「顔」の心理学』より。設問の都合上、文章を一部改変しています。）

※浅はか：考えが足りないこと      ※呪縛：心理的に人の自由をうばい、動けなくすること

※ムードメーカー：場を盛り上げ、雰囲気明るくする人      ※無骨：骨ばってこつこつしていること

※長けて：すぐれて      ※伴った：付き従った

**問一**——線部①「顔は自分以外の人のためにある」とありますが、自分以外のどのような人のためにあるのでしょうか。問題文の言葉を用いて、「人」につながるよう二十字以内で答えなさい。

**問二**【②】に入る最もふさわしい語を次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア、その一方で      イ、そのために      ウ、それに加えて      エ、それだけでなく

**問三**——線部③「複雑な気持ち」とありますが、それは具体的にどのような気持ちでしょうか。最もふさわしいものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア、美男・美女は顔だけでなく性格も良くて得をするので、自分もそうなりたいとあこがれる気持ち。  
 イ、大切なのは顔ではないといいながらも実際には顔で得をする人がいるため、納得できない気持ち。  
 ウ、本当は顔の良さが人生を左右するのに、頭や心をみがく方が重要だと言われていららする気持ち。  
 エ、顔や服装などの見た目から人間性を判断するのはくだらないことなので、軽蔑したくなる気持ち。

**問四**——線部④「一目置かれている」とはどのような意味ですか。最もふさわしいものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア、優れた人物だと認められていること。  
 イ、関わらないよう距離を取られていること。  
 ウ、要注意人物だと考えられていること。  
 エ、周囲から生意気だと思われること。

**問五**——線部⑤「なんで、こんな顔なのだろう」とありますが、どんな時にそう思うのでしょうか。問題文から二十字以内でぬき出して答えなさい。

**問六**——線部⑥「顔を記憶するメカニズム」を次のようにまとめました。問題文から（1）～（3）にふさわしい漢字二字をぬき出して答えなさい。なお「メカニズム」とは「物事の仕組み」という意味です。

・顔を記憶する目的

学校や（1）（ ）でうまくやっていくため

・顔を記憶する方法

顔を区別するため、細かい違いを（2）（ ）する

←

（3）（ ）を強調して覚える

問七 ―線部⑦「それ」とは何を差しますか。「〜であるかどうか」に続くよう、問題文の中の一語で答えなさい。

問八 ―線部⑧「表情というマジック」とありますが、作者が「表情」を「マジック」にたとえているのはなぜですか。最もふさわしいものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア、表情の変化に応じて、まるでマジックのように目や鼻などの顔の土台も変化するから。
- イ、表情の変化がなくなると、まるでマジックのように人間の姿かたちが消えてしまうから。
- ウ、表情を変えると、まるでマジックのように雰囲気に変化して違う人物に見えてくるから。
- エ、表情を変えずにいと、まるでマジックのようにその人らしさが明確に現れるから。

問九 それまでの文章から話題が変わる段落を、問題文の中の **ア** ～ **エ** から選び、記号で答えなさい。

問十 この問題文の表現上の特徴として最もふさわしいものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア、会話を中心に話題を展開することで、顔についての悩みを読者の心に寄りそって解決している。
- イ、身近な出来事を多く例に挙げることで、顔が持つ社会的な意味を読者にわかりやすく伝えている。
- ウ、カタカナ語を多用することで、顔への関心が国際的に広がりつつあることを読者に示している。
- エ、顔にまつわるウソをおもしろく語ることで、社会心理学のおもしろさを読者に紹介している。

問十一 筆者の主張として最もふさわしいものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア、美男・美女は目立つたために損をすることが多く、ありふれた顔の人間の方がむしろ幸せになれる。
- イ、顔は自分のためにあるのではないから、顔について悩んだり損得を感じたりすることに意味はない。
- ウ、人間が顔を評価するのは、動物と違って人間の顔のつくりには明らかかな個性があるからである。
- エ、美しく整った顔よりも、表情の中にその人らしさがにじみ出ている顔の方が本当の意味で好まれる。

「三」 次の問題文を読んで、後の問いに答えなさい。

【登場人物】

佐々目宗…物語の舞台である若竹小学校の給食調理員。料理コンクールで優勝するほどの実力を持つが野菜を食べない小学校の手塚佑磨…小学校一年生の男の子。心が弱ったことで教室に入れず、保健室へ登校し、勉強したり、給食を食べたりしている。

由比先生…保健室の先生。

さりげなさを装って書棚の本を手に取りながら、横目で佑磨の様子を窺った。字を書く構えのまま、※沈痛な表情でじっと座っている。くるりと背を丸めているのは防衛の姿勢だ。佐々目にも覚えがある。何もかもに自信を失ったとき、気づいたら身を縮めて丸くなっていたことが。

（中略）

由比先生が佑磨の机を拭き終わるのを待って、給食のトレイを置いた。皿のラップをひとつずつ外して、真ん中に置いた※副菜の皿を佑磨に示し、できるだけ優しい声で言った。

「これ、開けてみて」

皿には卵の殻がドームのように伏せてある。かき玉汁に使った卵の殻を、半分にして洗ったものだ。由比先生に頼んで、毎日送り迎えに来る佑磨の母親から、佑磨の心をつかむ「①スパイス」を聞き出してもらったのだ。

――佑磨くんママに聞いたらね、佑磨くん、『開ける』のが好きなんだって。箱でもドアでもレンジでも、ジャン！ って開けると喜ぶって。ワクワクするみたい。宝箱みたいだって。

しかし今、目の前で卵の殻と向き合った佑磨は、戸惑ったように殻を眺めているだけだ。

「えー、なんだろう、それ？ いいなー、先生も見てみたいなー」

由比先生はもう合図なしでも、盛り上げに抜かりない。

それでも佑磨は手を出そうとしない。こうなったら仕方ない。気恥ずかしいが言った。

「ジャン」

由比先生が驚いているのが気配で分かる。佑磨は、なんか違うぞと言いたげに目だけ動かしてこちらをチラ見したあと、ようや

く卵の殻のフタを取った。

中には、サクランボが一组。赤くツルツルした表面に刻みを入れ、白い果肉を覗かせて、ニコニコ顔を描いてある。佑磨の顔が嬉しそうに※ほころんだ。小さい口から、「はあ」とも「わあ」ともつかない声がこぼれ、手は殻のフタを被せたり取ったりを繰り返し繰り返している。

由比先生が、やったね、というように笑って手を出した。その手に手のひらを打ち付けた。人に何かを作って、こんなに幸せな気持ちになったのはいつ以来だろう。この②チャンス逃すまいと、佑磨に慎重に話しかけた。

「宝箱だよ。こういうの、好き？」

「うん」

初めて聞く佑磨の話し声は、小さいがよく通る、子どもらしい高い声だった。

そのとき、佐々目の心の中に、新たな「③スパイス」がひらめいた。

宝探しというのはどうだろう。例えば野菜を宝にして、何かの中から探し出すのだ。今の佑磨のように、子どもたちみんなが喜ぶメニューができるかもしれない。

野菜嫌いな子には、野菜は宝にならないだろう。でもそこを何とか工夫すればいい。

「佐々目さん？」

考え込んでいたら、由比先生に※怪訝そうに呼びかけられた。佑磨も殻のフタを手をこちらで見ている。その無邪気な顔を見たら黙っていられたなかった。

「新しいメニューのヒントを思いついたんだ。佑磨くんのおかげで」

「……ぼくの？」

佑磨が④きよとんと振り返った。

「そう。佑磨くんのおかげ。⑤すつこくいいことを教えてくれた」

「ほんとに？」

佑磨が初めて佐々目をまっすぐに見つめた。その目の光に、少し力が戻っている。皿に目を戻した佑磨は、ニコニコ顔のサクランボを菓のように口に入れ、大切に噛み締めた。

（ 中略 ）

その後、新しいメニューのくじびきハンバーグを開発した佐々目は佑磨のもとへ給食を届けた。

保健室で、佑磨も由比先生と校内放送を見ていた。机はすでに片付けられ、トレイが来るのを待っている。さっそくトレイを置いて皿のラップを取った。

「ジャーン」

いつの間にか照れずに言えるようになった。

「⑥くじびきハンバーグだ！」

佑磨が声を上げた。由比先生が笑って言葉を添えた。

「そう。佑磨くんのおかげでできた、くじびきハンバーグだよ。今、学校中のみんなが、⑦佑磨くんのくじびきハンバーグを食べてるんだよ」

佑磨が「ぼくの」と笑う。自分が役に立ったことが、本当に嬉しいらしい。

「くじ、どれが当たったか見せてよ」

頼むと、佑磨は危なっかしい手つきで、先割れスプーンでハンバーグを割ってくれた。

ほしだ、と佑磨が小さく声を上げた。出てきたのはタケノコの星だった。実は、⑧これは仕込みだ。絶対にラッキョ運のハンバーグを届けようと、目印をつけて取り分けたのだ。

佑磨は少し戸惑ったようにタケノコの星を見ている。前にタケノコでサイコロを作ったときは、一口も食べてもらえなかった。ちようど※モニターの画面に出てきたタケノコを示して言った。

「ほら、ラッキョスターだ。願いごとが叶うよ」

「ほんとに？」

「ほんと」

「佑磨くんは給食のおにいさんにヒントをあげた子だから、一番パワーがもらえるよ」

由比先生が絶妙なフォローを入れる。それを受けて付け加えた。

「これで誰にも負けない、強い子になれるから」

子ども騙しでも何でもいい。失っていた自信と勇気を取り戻してほしい。  
佑磨は何秒か、⑨ ためらうように星を見つめた。

そして、エイツと口に入れた。噛んで、飲み込んだ。

「食べれた！」

佑磨が声を上げた。手のひらを向けると、小さい手のひらがパチツと音を立てて打ち付けられた。その背中は、まっすぐに伸びている。

「佑磨くん、きつともうすぐ、教室に戻れると思う」

由比先生が囁いて微笑んだ。

——こんな風に。

全校の子どもたちも、くじびきハンバーグを楽しんでくれていたらと思う。

こんなにも食べる人の気持ちを考えたことはなかった。味が良ければいいと思っていた。

（遠藤彩見『給食のおにいさん』より。設問の都合上、文章を一部改変しています。）

※沈痛：悲しみにしずんで胸を痛めるようす。

※副菜：肉や魚などにそえるもの。サラダなどの小さいおかず。

※ほころんだ：顔つきがやわらいだ。

※怪訝そう：わけが分からなくなつとくがいかない様子。不思議に思っている様子。

※モニターの画面：モニターが各教室に置かれており、そこから給食委員会による給食紹介の動画が流されている。

**問一**——線部①・③「スパイス」とは本来こしょうなどの味や香りの特徴づけるものですが、問題文中では何を指しますか。

（ア）（イ）（エ）にふさわしい語を問題文中からぬき出して入れなさい。（ハ）には同じ語が入ります。

- ・①の「スパイス」は佑磨の（ア）を開くための（ハ）。
- ・③の「スパイス」は子どもたちに（エ）を食べてもらうための（ハ）。

**問二**——線部②「チャンス」とはどのような状態のことですか。最もふさわしいものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア、由比先生が必死に場を盛り上げたことで、佑磨がいつもより元気になっている状態。

イ、自分の好きな果物であるサクランボを食べた佑磨が、明るい気持ちになっている状態。

ウ、佐々目が作った宝箱をまねた料理によって、佑磨の気持ちが前向きになっている状態。

エ、由比先生にほめられたことで、佐々目が佑磨の楽し気な姿を素直に喜ぶことができる状態。

**問三**——線部④「きよとんと」の使い方として最もふさわしいものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア、母はあまりにもさみしくてきよとんとした顔になった。

イ、彼はなぜ怒られたか分からずきよとんとした顔になった。

ウ、感動を味わいながら兄はきよとんとした顔になった。

エ、悲しさからか彼は一日に数回きよとんとした顔をする。

**問四**——線部⑤「すつこくいいこと」とはどのようなことですか。最もふさわしいものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア、こだわってきた味の良さを手放し、ただ食べる楽しさを考えればいいということ。

イ、子どもたちが苦手なものを食べるには楽しいと感じることが必要だということ。

ウ、佑磨がこれから給食を食べるためには「開ける」動作を加えればいいということ。

エ、おかずをくじびきにすれば、どんな子どもでも残さず食べてくれるということ。

**問五**——線部⑥「くじびきハンバーグ」とありますが、

（一）佐々目がこのメニューを作った目的はなんですか。「子どもたちが、くため。」の中に入るように十字以内で答えなさい。

(二)「くじびきハンバーグ」とはどのようなメニューですか。その説明として最もふさわしいものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア、いくつかのハンバーグのうち、一つにあたりくじが入っているメニュー。
- イ、ハンバーグという宝と、一緒に野菜を食べることができるメニュー。
- ウ、卵の殻の中に、星の形の小さいハンバーグを入れたメニュー。
- エ、ハンバーグの中に、くじの代わりとなる野菜が入っているメニュー。

**問六** —線部⑦「佑磨くんのくじびきハンバーグ」とありますが、なぜ「佐々目さんのくじびきハンバーグ」と言わないのですか。その説明としてふさわしくないものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア、佑磨がメニュー開発に役に立つきっかけを作ったことを強調して、元気づけようとしたため。
- イ、佑磨に、自分が作ったメニューでもあるから食べてみたいという気持ちを持ってもらうため。
- ウ、メニュー開発には佑磨の協力が不可欠であったことを佐々目にずっと覚えていてもらうため。
- エ、佑磨の好きなものがメニューを思いつききっかけになったので、佑磨が作ったとも言えるため。

**問七** 傍線部⑧「これは仕込みだ」とありますが、

(二)「仕込み」とは準備のことですが、佐々目が行った「仕込み」の説明として最もふさわしいものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア、あらかじめラッキョ運の野菜が入っていると分かっていたハンバーグを佑磨に届けたこと。
- イ、佑磨のお母さんにあらかじめ佑磨の好きなものが「開ける」ことだと聞いていたこと。
- ウ、由比先生にあらかじめ佑磨の好物がタケノコであるということを知っていたこと。
- エ、あらかじめ佑磨が好きな星型の野菜が入っていると分かっていたハンバーグを佑磨に届けたこと。

(二)佐々目が「仕込み」を行ったのは佑磨に対するどのような気持ちからですか。問題文中から二十字で見つけて、最初と最後の三字を答えなさい。「。」も一字に数えます。

**問八** —線部⑨「ためらう」とほぼ同じ意味になるように、「( )」の中に入る漢字一字を答えなさい。

**問九** 「佐々目」が「佑磨」との出会いを通して考えるようになったことはなんですか。後の「( )」に当てはまる言葉をそれぞれ問題文中から十字以内でぬき出しなさい。

- ( ) 十字以内 ( ) 十字以内 ( ) を考えるようになった。

**問十** 問題文中での「佑磨」の変化について話した児童の会話をもとに「( )」に入る言葉を問題文中から一字でぬき出しなさい。

- Aさん「いやあ、最初は悲しい様子の佑磨くんが元気になっていったよかったですね」
- Bさん「そうだね。やっぱり佐々目さんや由比先生のおかげだと思う」
- Aさん「たしかに、最初は『ジヤーン』っておおげさに言うのも照れていた佐々目さんが、後半では照れずに言えるようになったのも佑磨くんをなんとか喜ばせようとした気持ちからくる変化なのかもしれないね」
- Bさん「変化といえば、佑磨くんが元気になり始めた場面がとても細かく書かれていて感動したな。『( )』や『( )』は口ほどにものを言う』とも言うし、やっぱり「( )」ってその人の内面や気持ちを伝えるために大切な役割になるときもあるんだね」

「四」 次の問いに答えなさい。

問一 文中で「何が（だれが）」にあたる部分を主語、「どうする」「どんなだ」「なんだ」「ある（いる）」にあたる部分を述語とい

ます。次の文の主語と述語を、例にならって記号で答えなさい。

〈例〉 ア赤い イ車が ウ走る。 答え 主語（イ） 述語（ウ）

① ア私の イ弟が ウ母に エおやつを オねだる。

② アやっぱり イとても ウ長いな、 エ動物園で オ見た カキリンの キ首は。

③ ア君こそ イこの ウ大会で エ勝利した オスターだよ、 カおめでとう。

④ アわたしも イこの ウ小説を エすぐに オ読みたい。

問二 次の□は文中のどの言葉にかかりますか。例にならって記号で答えなさい。

〈例〉 ア兄の イ作る ウ料理は □とても エおいしい。 答え (エ)

① □この ア新しい イ小説は ウ非常に エ長い。

② □昨夜、 ア美しく イ大きな ウ満月が エ見えた。

③ □あなたの ア小さな イ親切が ウクラスを エ明るく オする。

④ □図書館で、 イぼくは □本を ウ二冊 エ借りて、 オ帰った。

問三 次の熟語の成り立ちの説明として最もふさわしいものを後のア～カから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ①取捨 ②牛乳 ③観劇 ④永久 ⑤未満

ア、反対の意味の漢字二字からなる。〈例〉上下  
イ、似た意味の漢字二字からなる。〈例〉道路  
ウ、上の字が下の字を説明している。〈例〉強風

エ、下から上に返って読むと意味がよくわかる。〈例〉登山  
オ、上の漢字が主語、下の漢字が述語である。〈例〉国立  
カ、上の字が下の字を打ち消している。〈例〉不足

問四 次の仮名づかいのうち、正しいものを選び記号で答えなさい。

- ① (ア、はなじ / イ、はなぢ) が出たので、ティッシュをください。  
② 今日の授業は (ア、ちず / イ、ちづ) の学習だ。

問題は以上です。



